

ほけんだより

小樽市立塩谷小学校
令和2年8月25日
第14号

ないかけんしん 内科検診のうけかた

①よばれたら、先生のお話をきき、けんこうカードを持って、視聴覚室へ移動します。
このときにパーカーなどの上の服はぬいでおきます。マスクはずっとつけたままです。

②視聴覚室へ入ったら、しずかに準備をします。

- ・長いジャージをはいている人は、ひざがみえるように、めくります。
- ・短パンをはいている人はそのままです。
- ・**おとこのこ**→まっている間はうすいシャツだけ。自分の番になる前に、ぜんぶぬぐ。
(気になることがある人は、うすいシャツのまま、うけます。)
- ・**おんなのこ**→うすいシャツだけになります。
(高学年でブラジャーをつけている人は、つけたまま、上にシャツをきます。)
- ・準備ができたなら、けんこうカードをもって、足形の上にならびます。
- ・ならんでいる間にねつをはかり、手のしょうどくをします。

③ここからは学校医の高橋先生にみてもらいます。

- ・名前と「おねがいします」をいい、けんこうカードをわたし、いすにすわる。
- ・全員、聴診器をつかって、からだのようすをみます。
- ・必要な人だけ、かたやひざなどのようすをみます。
- ・全員、高橋先生にせなかをむけて、すわります。

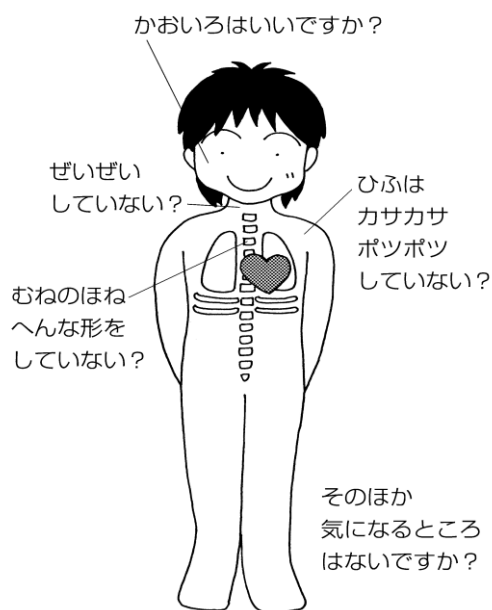
せなかをむけたまま、シャツをきている人は、シャツをぬぎます。

せぼねがまがったり、かたのほねのたかさにちがいがいないか、
しっかりみるためです。協力してください。

- ・先生のおはなしをきいて、こしをまげて、おじぎをすることがあります。
- ・先生に背中をむけたまま、シャツをきます。
- ・「おわりです」と言われるので、「ありがとうございました」と言う。

④きがえスペースにもどり、しずかに上の服をきて、教室へもどります。

ないかけんしん 内科検診でみていること



- ・かおいろがどうか。
- ・こきゅうがぜいぜいしていないか。
- ・ひふのようすはどうか。
(かさかさやぽつぽつがないか)
- ・むねのほねのかたち
- ・ひじやひざ、かた、こしなどのようすはどうか。
- ・せぼねやかたのほねのようすはどうか。
とくにかたのほね(肩こう骨)のたかさは大切です。しっかりみてもらえるように協力してください。

けんこうしんだん ☆健康診断のやくそく☆

- ①うける前には、自分の名前、「おねがいます」、終わった後は「ありがとうございます」をかならず言うこと。
- ②健康診断の時間はしずかにする。おしゃべりをしない。
- ③健康カードはていねいにもつ。ほかの人のカードはみない。

<保護者の皆様へ>

内科検診と合わせて、4月に問診票を記入していただいた四肢についても検診を行います。

○男子：待機中は薄いシャツ1枚、検診スペースに入る直前に上半身脱衣。

(気になることがある場合は、薄いシャツの着用のまま検診可能)

○女子：検診スペースに入るときに薄いシャツ1枚。(ブラジャーは常時着用可) キャミソールやタンクトップのような形だと背中をみるときにめくるだけで済むことが多い。

○共通：できる限り短パン。長いもの場合はジャージなどの折り返ししやすいもの。

(寒い場合には学校にあるバスタオルをはおることができます。)

側わん症がないか、しっかり診るため、看護師が介助しますので、めくりやすい薄目のシャツを着用していただけるようお願いいたします。

感染症対策として、会場の換気、入室人数の制限、ソーシャルディスタンスの確保、検診直前の検温と手指消毒、入室者全員のマスク着用、医師や看護師の手袋やフェイスシールドの着用、聴診器の消毒を行います。